



失敗ではなく 経験

この言葉は、元なでしこジャパンのキャプテンでワールドカップ世界チャンピオンにも大きく貢献し、日本人初のバロンドール賞も受賞した澤穂希さんが、話してくれた内容の一部です。

まさに、昨年から皆さんに伝えている「挑戦」「やって(経験して)みて、見えてくる景色が教えてくれるもの」の最終形態だなあと思いながら、体育館の後方で聞いていました。

さすが、経験者の金言ですね。

そして『チャンスの波に乗れ』という言葉もありましたね。これを聞いて、また思いました。チャンスの神様には前髪しかないと話したことを皆さんは覚えていますか？これはと感じた時に通り過ぎるチャンスの神様には前髪しかありません。だから、すぐに捕まえないとチャンスを手に入れられないのです。後頭部をタッチしてもツルツルして滑るだけです。

また、澤さんは英語が堪能でアメリカに単身で渡り、めきも、“時機を逃さない”ともお身体能力にピーク時があるようきる実行力も重要です。そして、知識は多くなってもない財産とも言えます。



能ではない大学生の時に、めきと頭角を現したときでっしゃっていました。特に身に、思い立ったら行動化でて、勉強をもっとしたいと言いつい重くなりません。盗まれること

予測困難なこれからの未来には、よく考え、戦略的にくか賢い力が必要だと感じ

来を自分らしく切り開いていこれからをどう、生活していっています。

その中でも、経験は大変、重要な要素だと思います。

令和6年は、何かに挑戦、初めての経験などがどれほどあったか、振り返ってみてください。

そして、思うような結果ではなくてもそれは「経験」として今後の肥やしとして受け止めて前進できる人であってほしいと思います。

つい、誰かのせいにしてたり、できごとのせいにしてたりと自分を正当化したくなります。それでも、最後は事実を受け止め、自分に何ができるか前向きな考え方に変換してこれからは生かしていけるよう、子供も大人も成長できる高松中学校をつくっていきたくいと、改めて実感した澤さんの時間でした。

最後に、令和6年、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。令和7年も、どうぞ、よろしくお願いいたします。

例年より寒い冬と報じられています。皆様、ご自愛ください。元気に1月8日(水)にお会いできることを、心待ちにしております。皆様がよい年末年始をお過ごしになりますよう、願っています。